

友愛デイサービスセンターにおける医療的ケアへの取り組み

－誰もが暮らしやすい地域社会へ－

社会福祉法人友愛十字会 友愛デイサービスセンター

荒井 広祐、斧 由紀子

(医療的ケア 地域生活の継続 その人らしい暮らし)

1. 背景

当センターは、既存利用者の加齢・重度化に伴う身体状況の変化等の理由から、様々な課題を抱えながらも、平成19年より医療的ケア（以下、医ケア）に対応した支援を開始した。そして今日、医ケアに対応している事を理由に、当センターでの実習を希望する特別支援学校からの生徒が増加している。

特別支援学校においては、今後も多くの医ケアが必要な生徒が卒業予定であるものの、区内においては医ケアに対応した支援を行える事業所が不足している。

こうした現状を踏まえ、今後、当センターがどのようにサービスを展開すべきか・地域に貢献できる事とは何か。確かな根拠に基づいた研究が必要と判断した。



2. 目的

- ①社会資源として期待される役割を正しく把握し、地域社会に対して高いレベルで貢献し続ける。
- ②今後も増加が見込まれる医ケアの必要な方々とその家族の地域生活を支える為、医ケアに対応している生活介護事業所の認知度を高めると共に、当センターにおける取り組みを外部の支援者や関係者に提言し共有する事で、医ケアに対応する事業所数の拡大を推進する。
- ③医ケアの必要な方々であっても、より一層、安心して生活できる地域社会を目指す。

3. 実践内容

- ①都・区内における重症心身障害児者を取り巻く情報を収集すると共に、関係機関とも連携を重ねながら、現在・未来の地域社会におけるニーズを正しく把握する。
- ②当センターにおける過去の取り組みや現在行っている支援を通して、医ケアの必要な方々を受け入れる意義や課題を明らかとし、これらを法人内外の事例研究発表会等にて発信する。

4. 経過

- ①医ケアに対応する意義や課題を再確認する事にすると共に、世田谷区・特別支援学校等と連携の上、当センターに求められている役割を明確にし、当センターにおける「医ケアの必要な方々を積極的に受け入れていく」という事業方針を、更に強固なものとした。
- ②令和3年9月に開催された法人内事例研究発表会において、同内容を発表した。(特別賞を受賞)



